

# 「伝わった」から 「もっと伝えたい」を 支える取り組み

大阪府立和泉支援学校

中学部 伊美 聡

# 大阪府立和泉支援学校

- 大阪府南部にある  
知的障害特別支援学校
- 小学部から高等部まで  
340人あまりが在籍
- 近隣小・中学校からの  
入学者が多い



# 本日の流れ

- 対象児について
- 活動の目的・取り組み内容
- 活動の中で感じたこと
- 今後の見通し

# 対象児について

- 中学部 2 年男子生徒  
「魔法の宿題」より参加
- 知的障害を併せ持つ  
自閉症
- 中学部から本校に入学
- 発語が苦手  
小学校時代より保護者作成の文字盤を  
活用してきた。



# 対象児について

## 学習

ひらがなは読み、書きとも定着。  
簡単な漢字の読みはできる。

## 興味 関心

ゲーム、ラジカセ等に興味を持つ。  
使用方法をすぐに理解し、使いこなす。

## 対人

入学当初はクラスメートと関わることは少なく、主に教師との関わりが多かった。

→伝わらない時は「うーうー」と泣くような声で訴えることもあった。

# 対象児について

- エピソード：入学直後の校外学習で

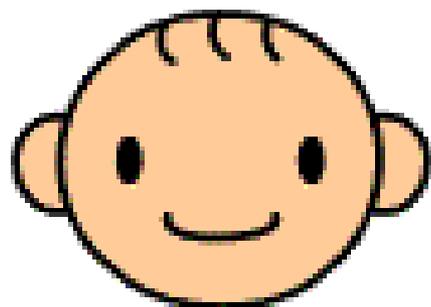
公園内の池にいた白鳥を見て文字盤で  
「あげる ごはん はくちょう」と伝えることがあった。

→興味のあるものでは、かかわりたいという思いから、やりとりしたい気持ちが生まれたのでは。

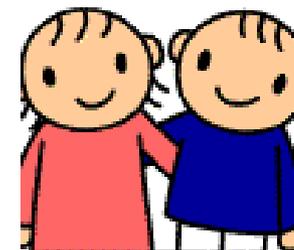
# 対象児について

入学当初の対象児と周りとの関係

かかわりが少ない

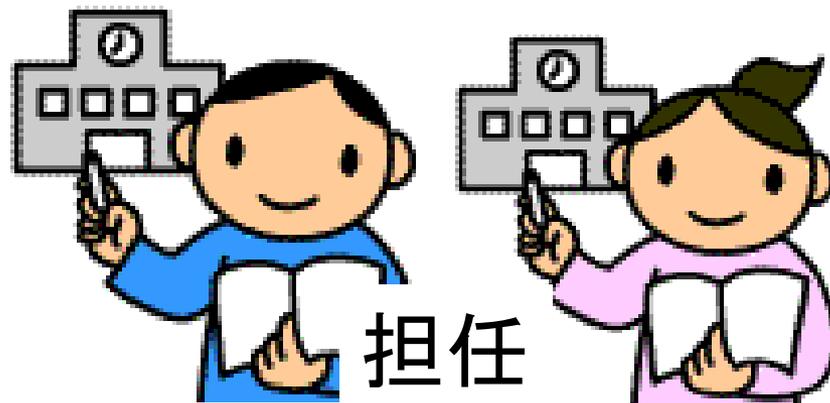


対象児



友だち

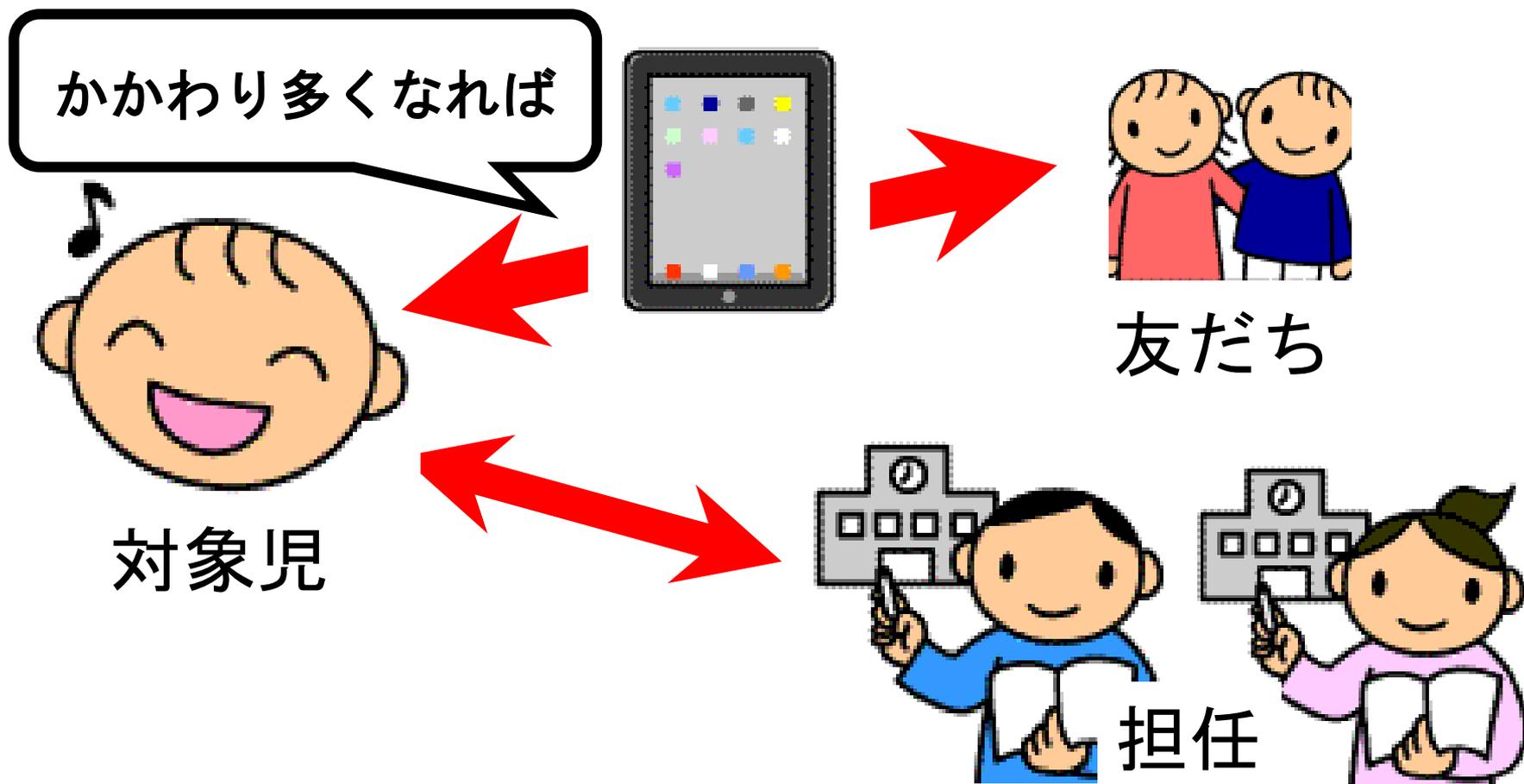
かかわりは見られた



担任

# 対象児について

活動を通して対象児と周りとの関係



# 活動の目的

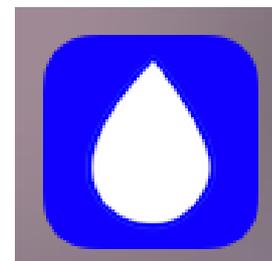
安心して取り組むことができる場所で、  
→教室・クラスメートがいるところ・家

対象児が取り組みやすい方法を使って、  
→iPad（文字の予測変換）

伝える、伝わる経験を重ね、周囲との関わり  
の意欲を高める。

# 取り組み内容

(1) 朝、帰りの会の司会を一人で行う【昨年度からの継続】



(2) ふりかえりをみんなに伝える【昨年度からの継続】



(3) 家での様子をみんなに伝える【今年度からの活動】



# (1) 朝、帰りの会の司会を一人で 行う

入学当初：担任が横に付き、担任の声で  
進行進められていた（2015年5月）

動画上映場面  
20秒程度

クラスメー  
トの名前が  
出てきます  
ので、途中  
無音にして  
います。

# そこで、



自分で会の進行を一人で行うことで、  
「伝わる」経験を重ねる取り組みを開始



“DropTalk”

- ・会ごとに流れをまとめたキャンバスを作成した
- ・クラスメートの名前も入れたキャンバスも作成した

# 司会時の様子(2017年1月)

動画上映場面  
20秒程度

# (1) 朝、帰りの会の司会を一人で 行う

## • 取り組み開始直後

数回で使い方をマスターする。クラスメートの名前を呼ぶとき、間違えずに呼ぶことができた。

## • 取り組み中

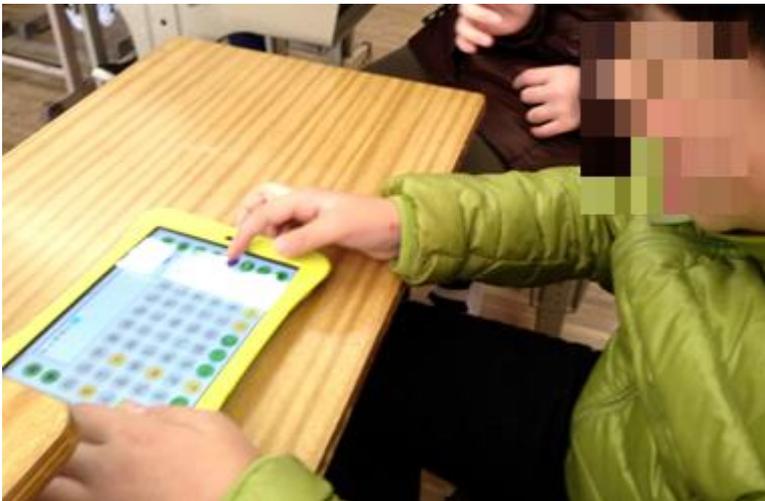
- ・ 帰りの会のふりかえり時、クラスメート名を呼ぶ時、**並び順とは違う順番で指名**するようになった。
- ・ クラスメートの名前を**わざと間違え**、クラスメートから**「なんでやねん！」とツッコみが入りその場が笑いに包まれ、対象児も笑顔になる**ことがあった。

## (2) ふりかえりをみんなに伝える

入学当初は、保護者作成の文字盤等で  
思いを伝えていた。



コミュニケーションアプリ“TalkingAid”を  
使ってふりかえりを一人で発表する取り組み  
を開始



## (2) ふりかえりをみんなに伝える

- 取り組み開始直後

授業名のみを言うことが多かった

→具体的に言うよう伝えた

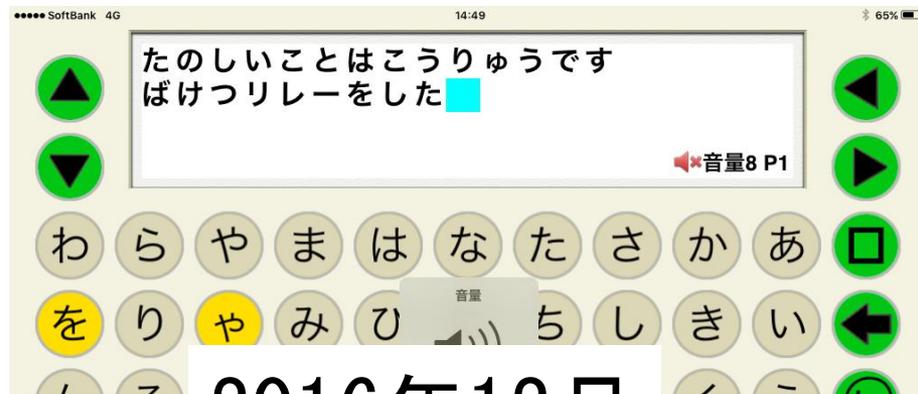
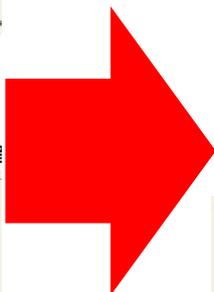
入力する音を楽しむ様子も見られた

→入力後音が出るように設定を変える

- 今年に入り

楽しかった授業名だけではなく、活動内容を具体的に説明したり、次回したいことも伝えることができるようになった

# 入力内容の変化



# (3) 家での様子をみんなに伝える

安心して対象児が好きな飼っている猫の様子を伝える日記の作成を今年度から開始



かえで

- ・もみじ
- ・かえ
- ・トイレ



日記例 (2016年7月)



自宅での入力の様子

(2016年9月) 18/33

“Keynote” のテンプレート  
に入力し、内容を共有

# 見てもらうための工夫

- ・クラスメートみんなが使うラジカセ前に掲示



# 入力内容の変化

クラスメートからの反応があることで、猫に関する  
ことから、約束ごと、体調のことなど内容に変化が  
みられるようになる

猫かえで



・ヒゲ

ヒゲ

2016年7月

運動会



・練習した  
・ひどい  
・運動会の練習  
・楽しい

練習した ひどい  
運動会の練習 楽しい

2016年10月

# 入力内容の変化

誕生日



・ たのしい14歳

2016年12月入力

楽しい14歳

しんどい  
ひどい  
薬飲む

ザベースボール  
ママ買うお手伝いします

ザベースボール



・ ザベースボール  
・ 対戦  
・ ママ買う お手伝いします

2016年10月入力

学校やすむ

・ しんどい  
・ ひどい  
・ 薬飲む



2016年12月入力

# 取り組み内容

(1) 朝、帰りの会の司会を一人で行う



(2) ふりかえりをみんなに伝える



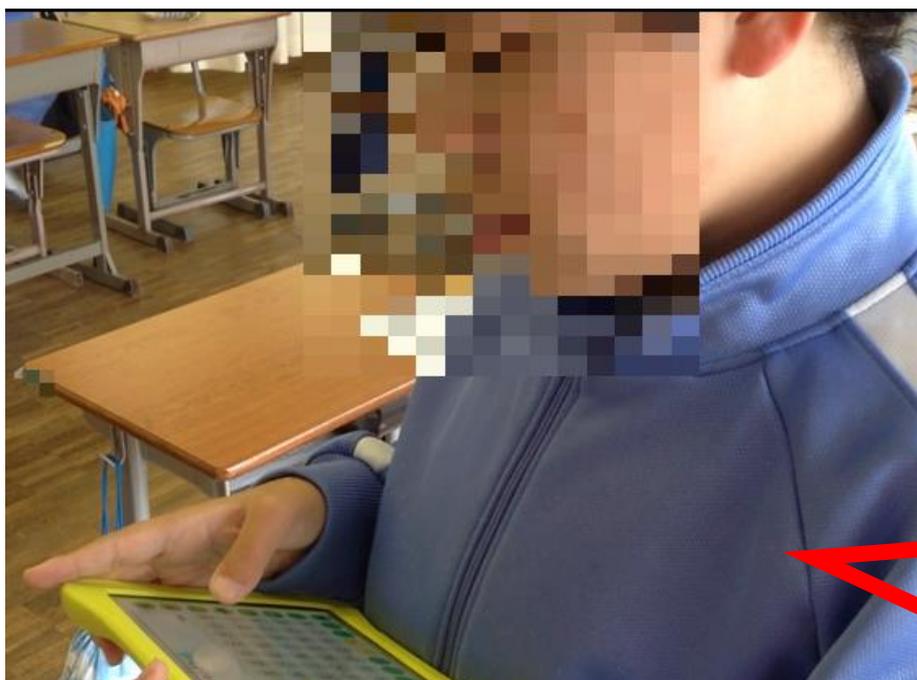
(3) 家での様子をみんなに伝える



→12月に居住地校交流を行うことに

# 居住地校交流で自己紹介をする

- ・対象児居住の校区の中学校で行われた居住地校交流に参加し、“TalkingAid”を使って自己紹介を行うこととなった



- ・いつでも入力ができるようストラップをつけた
- ・交流前に、自己紹介の入力練習を重ねた

自己紹介の練習風景（2016年11月）

# 居住地校交流での自己紹介の一部 (2016年12月)

- 対象児居住の校区の小中学生が集まって行われている「クリスマス会」に参加

動画上映場面  
5秒程度

# その際に入力した文章

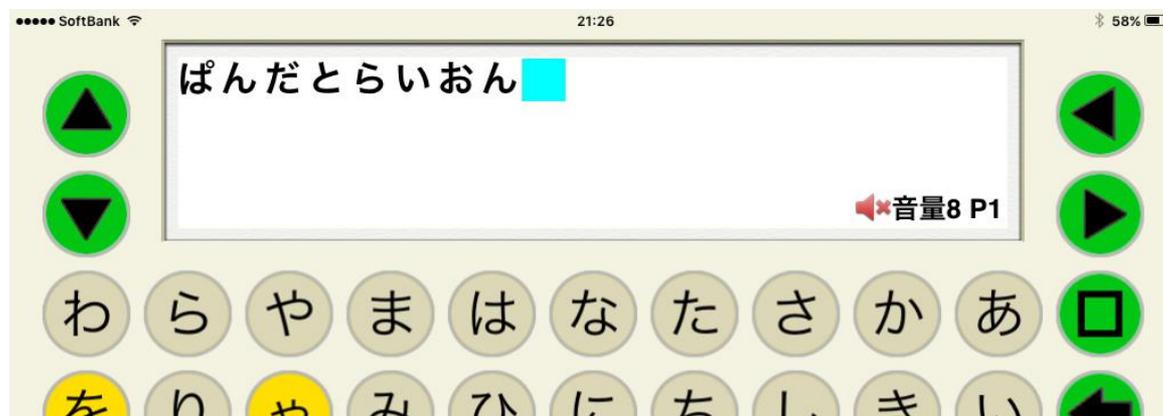


# さらに

- クイズ大会で「動物園にいる動物の中で人気のある動物2匹はなに？」という問題が出題



対象児は「ぱんだとらいおん」と答え、周りの参加生徒から「すげー」という声上がり、その様子を見て対象児は嬉しそうな顔をした



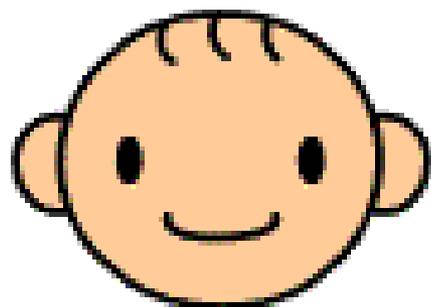
# 活動の中で感じたこと

- 司会を一人で行う取り組み  
友だちの名前をわざと間違え、ツッコミをいれられ、みんなが笑う場面も見られた
- ふりかえりをみんなに伝える取り組み  
伝える内容が具体的になり、また次回にしたいことも伝えるようになった。
- 家での様子を伝える取り組み  
好きな猫の様子から、内容が豊かになってきた
- さらに、12月の居住地校交流では  
自己紹介に加え、クイズに答える場面も見られた

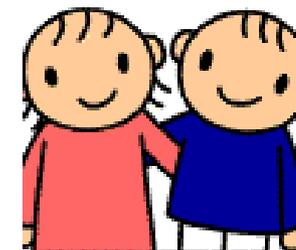
# 活動の中で感じたこと

入学当初の対象児と周りとの関係

かかわりが少ない

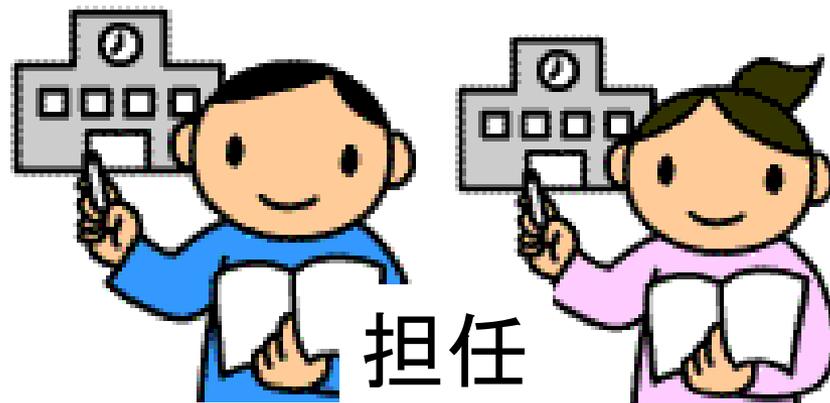


対象児



友だち

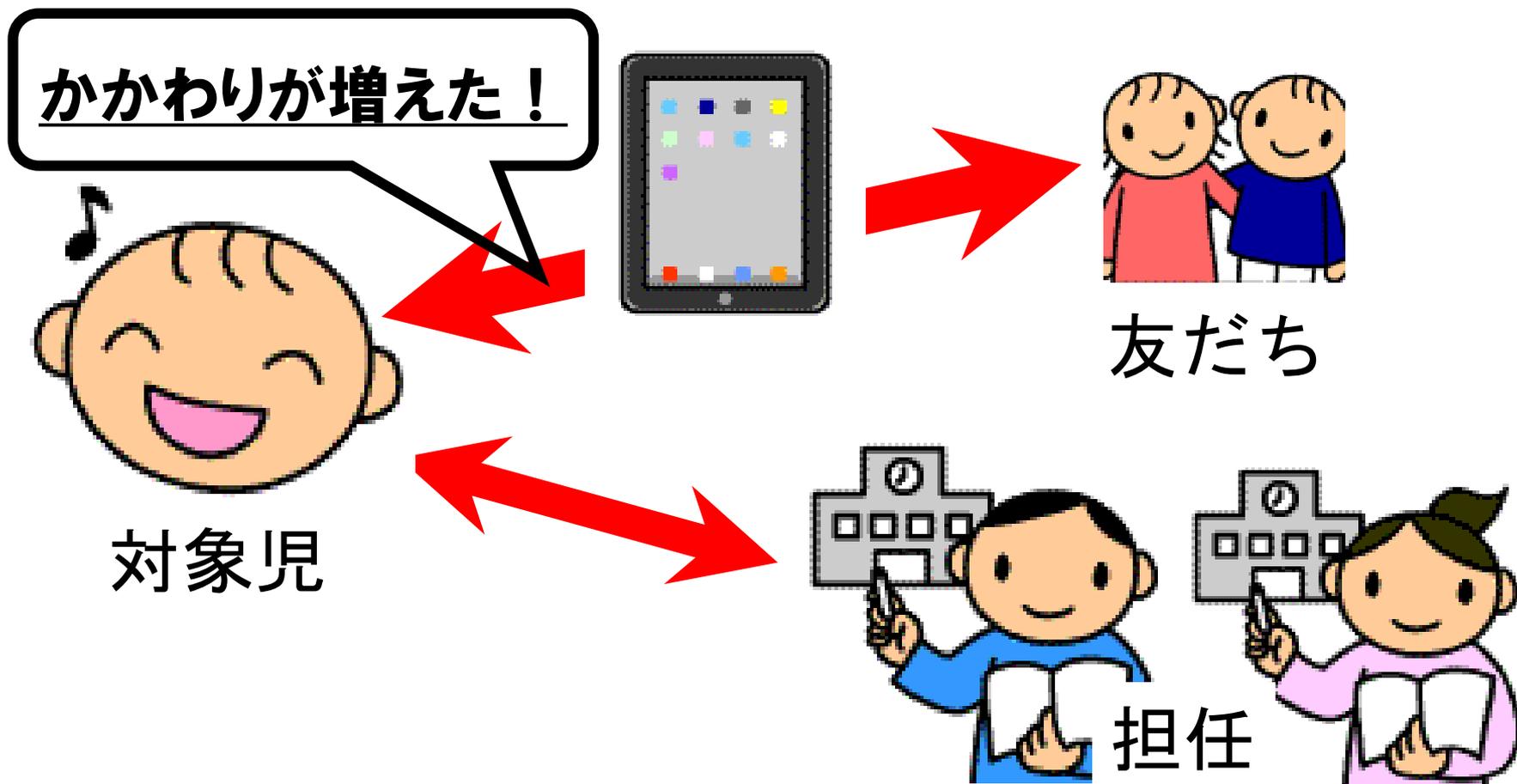
かかわりは見られた



担任

# 活動の中で感じたこと

現在の対象児と周りとの関係



# 活動の中で感じたこと

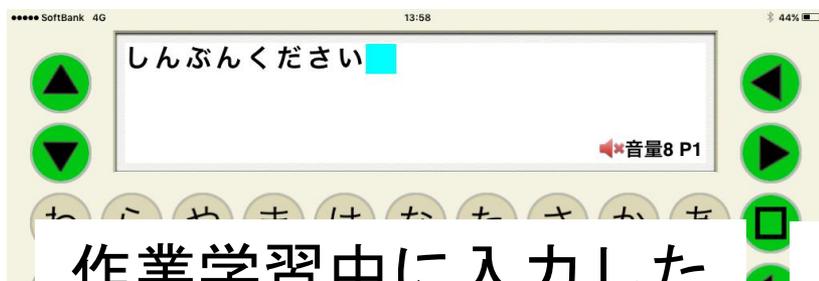
現在の対象児と周りとの関係



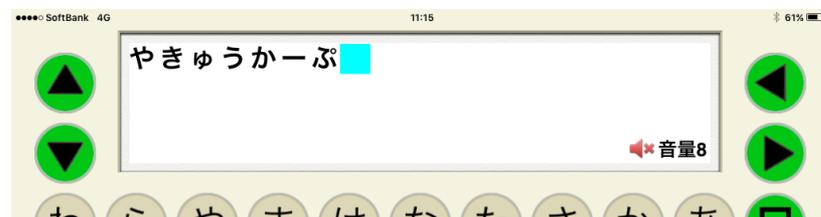
取り組みやすい手段を使って「伝える」「伝わる」経験を重ねることで、様々な人と関わりたいという思いにつながってきたのではないか。

# 活動の中で感じたこと

様々な活動場面で、思いを伝えるようになってきた。



作業学習中に入力した  
もの（2016年12月）



居住地校交流終了後に見た置物を見た  
時に入力したもの（2016年12月）



給食時に入力したもの  
（2016年12月）

# 今後の見通し

- 伝えたい思いをさらに広げるため、作業学習等の授業など、活用する場面を増やす。
- 高等部入学等を見すえ、体調を伝えたり、やり取りの場面で自分の思いを伝えられるような取り組みを行いたい。

**ご清聴**  
**ありがとうございました**